

2010年度(平成22年度)学校評価自己評価表

最終更新日	2010年(平成22年)4月23日
-------	-------------------

校番 19	福山市立 広瀬中 学校
-------	-------------

1 学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましく生きる生徒を育てよう。

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

へき地・小規模校として地域からの『学校存続』の願いを受け止めるとともに、広く市民からの要望に応えられる広瀬中学校教育を推進する。

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

(1) めざす学校像

- ①安心して学習や生活ができる学校
- ②一人一人に活躍の場がある学校
- ③掃除や整理整頓が行き届いたきれいな学校

(2) めざす生徒像

- ①自ら課題を見つけ、考え、判断し、解決できる創造性豊かな生徒
- ②自然を愛し、他人を思いやる心や感動する心を持った感性豊かな生徒
- ③健康・体力・気力を持った耐性のある生徒

(3) めざす教師像

- ①教育公務員として、自覚と使命感を持って活動する教職員
- ②自ら進んで研鑽し、力量を磨きあう教職員
- ③社会や子どもの変化に柔軟に対応できる教職員

3 自校の現状分析

(1) 生徒の学力課題

学習へ向かう意欲は、授業に生徒指導の機能を生かすことにより向上が見られたが、福山市学力調査結果から基礎的基本的な知識技能の習得が課題である。生徒の意識調査では「学力が伸びている」が90%以上であり、自己変容感を伴った学力の向上を図りたい。

(2) 生徒指導上の課題

「学校が楽しい」「授業以外で活躍の場がある」など充実感や自己存在感は高い水準で維持できているが、自己表現力の育成が課題である。生徒の意識調査では「自分をわかってくれる先生がいる」が100%であり、肯定的評価により対人関係に自信を持たせたい。

(3) 学校運営上の課題

学力向上プロジェクトの設置により全職員がそれぞれの役割を担い、学校経営目標の達成に貢献するシステムを構築した。職員の意識調査では「学校経営目標に基づく教育実践に取り組んでいる」が100%であり、学校経営の立ち位置での協働意欲をさらに高めたい。

4 研究主題

(1) 研究主題

「知りたい・わかりたい」から「考える・伝え合おう」へ
—言語環境を充実させ、思考・表現する活動を通して—

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
県	「中学校学力向上対策事業」	平成21年～平成23年
市	「教育研究支援事業(小中連携教育)」	平成20年～平成22年

5 今年度の重点目標と設定理由

重 点 目 標	設 定 理 由
(1) 学力向上と授業改善	(1) 自ら学ぶ力を育成するためには、知識・技能とともに思考力等の育成が必要である。学力向上対策事業の指定2年目であり、研究成果が期待されているため。
(2) 自己表現力の育成	(2) 心豊かでたくましく生きるためには、人とかかわる力が必要である。特に言葉を介して自己を表現する力の育成は本校の重点課題であるため。
(3) 学校マネジメントの充実	(3) チーム力と学校力を強化するためには、職員が教育活動を俯瞰し、見通しを持って遂行することが必要であるため。

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・ 自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	() 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	() 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期) 経営目標の達成状況 ◎ 改善方策
I 確かな学力	3	基礎・基本の学力を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成する。	★	見直し	①学習習慣を確立し、自己の成長を実感させる。		▽チャレンジタイム(補充学習)で問題集を使って個別指導を実施するとともに、家庭で自主学習ノートを毎日活用させる。 △生徒質問紙により「週3日以上自主学習ノートを使って勉強している」「教科の学力が伸びている」について、「よく当てはまる」の回答率を80%以上にする。		
				継続	②小中学校で言語活動の実践課題を設定し、論理的思考力を育てる。		▽ノートに自分の考えを書かせたり、論理的に発表させたりする。 △生徒質問紙により「自分の考えを書いている」「理由をつけて発言している」について、「よく当てはまる」の回答率を60%以上にする。		
II 豊かな心	3	生徒の自律性を育成する。	★	新規	③時と場所・場合に応じた言葉遣いができる力を育てる。		▽校外へ出て人とかかわる体験活動を実施する。 △生徒質問紙により「先生に対して敬語を使って話している」について、「よく当てはまる」の回答率を80%以上にする。		
				継続	④小中で一貫した生活規律の習慣化を図る。		▽教職員自らが規律3要素「挨拶・時間厳守・整理整頓」について手本を見せる。 △生徒質問紙により「気持ちのよいあいさつをしている」「はいと返事をしている」「時間を守っている」「履物をそろえている」について、「よく当てはまる」の回答率を70%以上にする。		
				継続	⑤俳句づくりの楽しさを実感させ、感性と自己表現力を育てる。		▽各種コンクールに応募する。 △句作数において、年間1人平均150句以上を達成する。 △生徒質問紙により「俳句づくりが楽しい」について、「よく当てはまる」の回答率を70%以上にする。		
III 健やかな体の育成	3	心身の健康と体力向上を図る。	★	継続	⑥年間2回の新体力テストを実施し、記録を向上させる。		▽体育の授業と部活動で、筋力アップの運動や柔軟性を高める運動を継続する。 △すべての学年で、男女とも「敏捷性」「柔軟性」「筋力」の記録が伸びている。		
				継続	⑦偏食を減少させる。		▽生徒による給食放送を毎日行う。給食試食会と講演会を実施する。毎学期、家庭での調理レポートを奨励する。 △生徒質問紙により「好き嫌いが減った」「給食を完食している」について、「よく当てはまる」の回答率を70%以上にする。		

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	() 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	() 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期) 経営目標の達成状況 ◎ 改善方策
IV 力量 ある教 職員	3	専門性と授業力 を高める研修を 充実させる。	★	見直し	⑧小学校との協同研究等を通 して、発達段階に応じた授業 展開ができる力量をつける。		▽すべての教員が年間1回以上研究授業を行い、小学校教員等の 参加による合同研修を行う。 △生徒質問紙により「この教科の授業はよくわかる」「この教科の 授業は楽しい」について、「よく当てはまる」の回答率を60% 以上にする。		
V 市民 から信 頼され る学校	3	組織的な学校マ ネジメントを確 立する。	★	新規	⑨「広島県中学校学力向上対 策事業」の趣旨を全ての教科 に反映させる。		▽学力向上プロジェクト会議を学期に2回以上実施する。 △教師質問紙により「広島県中学校学力向上対策事業の取組みを 理解している」「生徒の学力課題に基づいて指導を工夫してい る」の肯定的回答率を100%にする。		
				継続	⑩小中合同行事等で学校の教 育活動を開き、小中連携教育 で保護者の満足度を高める。		▽運動会、俳句大会など小中合同行事を年間5回以上実施する。 ▽小中合同授業研究会を年間10回以上実施し、中学校教員によ る小学校での音楽と英語活動の授業を年間通して行う。 ▽学校通信を年間20回発行し、学校の教育情報を伝える。 △保護者・地域の「学校の教育方針や教育活動、生徒の様子がわ かっている」「広瀬中学校の教育に満足している」の肯定的回答 率を100%にする。		